

観衆を魅了 布袋寅泰さん SPECIAL LIVE



撮影：西条佳泰 Grafica Inc

観客からあふれ出た感情や声。この2年半「自粛」という名の下に、無理やり蓋をせざるを得なかったものが一気に解放された。この日のために「辛いことや嫌なことを乗り越えよう」「もう少し頑張ろう」こう感じていた人もいたかもしれない。ただ、これだけは皆が確信したと自信を持って言える。

会場内にはうっすらと白い霧が立ち込める幻想的な空間の中、総勢約800人の観衆は、今か今かとスターの登場を待ちわびていた。会場内でどこからともなく沸き起こった手拍子が高まる緊張を伝える。

そしてついにその時は訪れた。映画『キル・ビル』のテーマ曲「BATTLE WITHOUT HONOR OR HUMANITY (新・仁義なき戦いのテーマ)」で登場すると歓声が沸き上がる。そこから「スリル」[MARIONETTE]「BE MY BABY」と畳みかけるように演奏し、会場のボルテージは最高潮に達した。その後も色気のある歌声と華麗なギターテクニック、魅惑的なステップや心温まるエピソードトークで会場を支配し、全12曲を披露した。目・耳・肌でロックを体感するライブに、時間を忘れるほど、会場中が熱狂した。そして、会場は一つになった。

「エンタテインメントには力がある。」

チームスマイルと釜石の歩み

釜石PITの誕生

エンタテインメント活動の拠点として、東京と被災3県に4つのホール「PIT」(Power Into Tohoku!)を開設することが決まり、岩手県では釜石情報交流センターの一部を活用し2016年1月9日にオープンしました。



外壁のアートワークは、現東京芸術大学長の日比野克彦さんによってデザインされました

わたしの夢応援プロジェクト

子どもたちや若者たちによる創作活動をサポートするとともに、各界のリーダーに「一人一人が持つ将来の「夢」がどうしたら実現できるか」をテーマに、講演会やワークショップを行ってきました。

2016



布袋寅泰さん、釜石で“夢”を語る。(8月7日)



川淵三郎さん vs 釜石の高校生 キャプテンサミット in 釜石 (10月23日)

2017



倍賞千恵子さんと映画「世界でいちばん美しい村」を観よう (2月26日)



熊本マリさんのピアノ・クリニック (4月23日)

2018



「浅葉克己さんと佐藤可士和さんのふるさとポスト一教室」 (6月23日)



茂木健一郎さんと柳家花緑さんのトークショー「そのとき、落語は、脳内で」 (8月18日)

2019



「輝け!! 未来へ!! 東北の星」 (12月14日)

2020



トーク+実演イベント「野村万蔵さんと古今亭菊之丞さんの「笑う日本の伝統芸」 (2月8日)

チームスマイル・釜石PIT感謝の会

11月20日に(一社)チームスマイルが開催した感謝の会では、同団体の矢内代表理事が、団体設立の過程や苦労、これまでの活動を振り返りました。また、同日に行われた「布袋寅泰SPECIAL LIVE」の売り上げを市と釜石まちづくり(株)に全額寄付していただきました。これに対し、野田市長は「今までさまざまなイベントを開催し、支援していただいた。頭が上がらない思いだ」とこれまでの支援に感謝を述べました。



左から釜石まちづくり(株)谷澤社長、矢内代表理事、野田市長

2012年の設立から「エンタテインメントによる心の復興」をスローガンに、復興に取り組んできた(一社)チームスマイル(代表理事・矢内廣(株)社長)の活動が、2022年末で終了します。今回は、これまでチームスマイルにしていいただいた釜石での活動を紹介します。

チームスマイル
感動をありがとう!